

会社概要 / 株主メモ

Corporate Profile / Shareholders' Memo

■会社概要

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 500百万円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ:546名 [外、臨時従業員14名] 単体:33名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、 不動産管理、総務・経理・人事等の管理

■役員 (2015年6月25日現在)

代表取締役会長	菅野 松一
代表取締役社長	齋藤 高紀
常務取締役	羽田 和徳
取締役	玉木 康夫
取締役	菅野 孝太郎
取締役	菅野 利徳

取締役 (常勤監査等委員)	谷藤 静広
取締役 (監査等委員)	武藤 正隆
取締役 (監査等委員)	大出 隆秀



ころネット株式会社
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>

■株主メモ

(2015年3月31日現在)

上場市場	： 東京証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL： http://cocolonet.jp/

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関

同連絡先

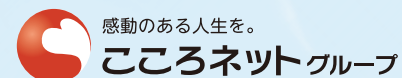
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

各種事務手続き

： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページ
にてご確認ください。
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



※ 環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



株主の皆様へ

2015年3月期のご報告



証券コード 6060

ころネット株式会社



グループ事業に横串を通し、 シナジーを最大化させ、 「攻めの経営」を推進してまいります。

代表取締役社長 齋藤 高紀

Q.1 経営環境の近況について、 ご認識をお聞かせください。

<市場は調整局面>

日本経済全体は、政府の政策支援などにより緩やかな回復基調に向かっていると思われませんが、消費の回復は、まだもう一歩という感じを持っています。やはり、2014年4月の消費税増税の影響が大きく、婚礼、石材市場等が伸び悩むと同時に、各単価が下がる傾向となりました。また一方、福島県の人口減少の影響や、震災後の需要の一巡などにより、事業環境は非常に厳しい状況が続いております。このような中においては、サービス品質の向上や、コストパフォーマンスを高める事業体制の整備・強化がより一層大切であると認識しております。

<グループとしての体制を強化>

当社グループは、「トータルライフサポート」を標榜し、地域の皆様に人生の節目となる行事、イベントなどを総合的にサポートしております。それぞれの事業の競争力強化に努めるこ

とは勿論として、グループ全体としての“力”を発揮するために、2013年4月の旧郡山グランドホテルとの経営統合、2014年4月のグループ事業再編、同年10月の葬祭会館名称の統一など、一連の施策を展開してまいりました。また、これら施策が具体的にグループ力の強化に結びつくよう、人材交流、組織改革なども行っております。

Q.2 そのような中、 当期の業績はいかがでしたか。

<誠に遺憾ながら、減収減益となる>

当期の売上高は、市場全体が調整局面を迎え、対前期比4.6%減となりました。主要セグメントにおきましても石材小売事業、生花事業を除き、減収になっております。しかしながら、下期以降、徐々に持ち直してきており、2016年3月期については、増収を見込んでおります。また、利益面につきましても、販管費の圧縮に努めましたが、減収の影響が大きく、営業利益、経常利益、当期純利益共に、対前期比減となりました。

■業績概況

単位:百万円

	2014/3	2015/3	増減率
売上高	12,057	11,505	△4.6%
経常利益	941	692	△26.4%
当期純利益	734	528	△28.0%

Q.3 近況の施策及び今後の展開について ご説明ください。

競争環境は確かに厳しいですが、守るだけでは駄目。今までに展開してきた施策により、当社グループの経営・事業体制を強化。この体制をもって「攻め」に転じる。

<グループ事業に横串を通す>

現在展開中の各事業とも当社グループにとっては大切なビジネスではありますが、連結売上高の約4割を占め、他の事業とも関連性の高い葬祭事業の強化に注力してまいります。葬祭事業は互助会、石材事業、生花事業などの結びつきが強く、アフターフォロー体制などを強化することで、グループ事業に横串を通し、シナジーの極大化を目指します。

<時代のニーズへの対応>

冠婚葬祭、墓石などにおいても時代とともにお客様のニーズは変化してきています。これらニーズを捉えていくために従来の既成概念に捕われることなく、様々なサービスを提供してまいります。2014年10月には婚礼事業において、「記念日ナビ」をリリースし、新たなジャンルに対応を始めました。

<業容拡大に欠かせない営業エリアの拡大>

提携・M&Aなどを積極的に展開し、攻めの経営を実践してまいります。直近では、2015年4月に茨城県牛久市の有限会社牛久葬儀社の子会社化を決議いたしました。また、ドミナント強化に注力しております郡山市においては、石材小売事

業の店舗をリニューアル、2015年6月に竣工予定となっております。

Q.4 最後に株主の皆様へのメッセージを お願いします。

<グループとしての発展を目指す>

当社グループは、福島県を営業基盤エリアとし、地域の皆様との密接な関係をもとに成長してまいりました。一方、石材卸売事業においては、東日本一円で約500、また、生花・装束事業では約800の取引先があります。これら取引先との間には、商材・ノウハウをご提供すると同時に、情報のネットワーク化が図られています。冠婚葬祭事業は、施設型のビジネスで、成長には投資が必要となります。当社グループは、このリスクを押さえながら持続的成長を図るために、東日本一円に広がるネットワークを活かし、業務提携、M&A、コンサル契約なども視野に入れた取り組みを行ってまいります。

株主の皆様におかれましては、「攻めの経営」に取り組む当社グループにご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当期の1株当たり配当金につきましては、前期同様の15円の間配当に加え、15円の期末配当を実施し、年間30円といたしました。



— グループ理念 —

私たちは、人々の「こころ」に
満足と安らぎをもたらす
サービスを提供いたします。

中核事業を強化し、「攻めの経営」を推進

経営統合、グループ再編、そして内部
グループ全体の総合力を最大限

の業務運営体制が固まったことで、
に発揮し、新たなる進攻を開始します。

基本戦略

「深耕」と「進攻」

当社グループの持続的成長に向けた基本戦略は、揺るぎないグループ体制を固めた上で、営業基盤とする福島県のドミナント化のさらなる強化と、中長期的な営業エリアの拡大が基本となります。ドミナント化については、福島県内の3地区における当社グループのポジションをベースにそれぞれの地区にふさわしい深耕策をとっていきます。また営業エリアの拡大については、石材卸売事業・生花事業で培われた東日本一円の取引先とのネットワークを活用し、提携等を含めた拠点づくりを展開し進攻策を講じていきます。

深耕による基盤拡充

- 福島地区：既にある程度のドミナント化が進んでいるエリアとして、アフター営業等のきめ細かな対応を図る
- 郡山地区：旧郡山グランドホテルとの経営統合を契機にグループ力を結集し、取引拡充を図る
- 会津地区：イベントなどの開催を通じて、同地区でのグループプレゼンスを向上していく

進攻による業容拡大

- エリア拡大に向けた拠点展開を図る
- 提携・M&A等を積極的に推進し、業容拡大を図る
- 将来の基盤確立に向け新分野への進出を検討する

持続的・安定的成長

<主要分野の重点方針/施策>



葬祭事業

- グループの中核事業として、他の事業とのシナジー営業を推進
- 提携、M&A、コンサル契約などを通じた福島県外への進出
- お客様のニーズにマッチした、邸宅型葬祭会館の展開



石材事業

- 良質な原石確保に向けた、仕入れ地の多様化と川上への進出
- 東日本一円に広がるネットワークのより一層の強化
- 新商品開発、支店のリニューアル等を通じた販売力の拡充



婚礼事業

- それぞれの施設の特徴を活かした施行サービスメニューの充実
- 記念日ナビ等によるナシ婚層へのアプローチ
- 婚礼以外のコンベンション等のイベントニーズへの対応

基本戦略をもとに、最適な施策を実施。

ドミナント化の推進

郡山地区のドミナント化を進めるにあたり、婚礼施設などのリニューアルが一巡したのを受け、石材小売事業の強化に乗り出します。リニューアル後の店舗では、墓石60基以上を常設する福島県内トップクラスの公園型展示場を併設いたします。また、日本の銘石墓や最新のデザイン墓等の展示や仏壇仏具の販売も行います。郡山地区全域をカバーする旗艦店舗として、今年6月に竣工予定です。

▶石のカンノ郡山支店 リニューアル完成予想図



営業エリアの拡大

当社グループの中核事業であります葬祭事業のエリア拡大に向けて、この度、茨城県牛久市で長年事業を営んできた有限会社牛久葬儀社の子会社化を決議。同事業の福島県以外での拠点として関東圏進出の第一歩を踏み出します。

新しい取り組み

婚礼事業において、低価格の結婚式や人生の節目のお祝い商品を紹介するWebサイト「記念日ナビ」をリリース。ナシ婚層に向けて新しい提案しております。また、葬祭事業では、Webを利用した葬儀紹介業者等と提携し、新たなお客様獲得を行っております。

▶Webサイト「記念日ナビ」

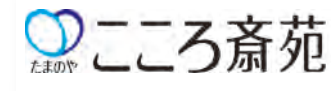


◎下期の主な活動

2014年

- 10月
 - 葬祭事業「たまのや」のロゴマークと葬祭会館名を一新
 - 婚礼事業「With Wedding」がWebサイト「記念日ナビ」をリリース
- 11月
 - 当社グループを紹介する書籍「感動のある人生を。」を出版
- 12月
 - 野村IR主催「個人投資家フェア」へ参加

新しいロゴマークと葬祭会館名



当社グループのこれまでの成長の歩み、これからの展望などを紹介する書籍が発売



出展ブースでミニセミナーを実施。多くの方にお越しいただきました

2015年

- 1月
 - 第38回石まつり(石の商談会)を開催
 - 大和IR主催「個人投資家向け説明会」へ参加
- 2月
 - 婚礼会場「SP VILLAS サンパレス福島」を改装し、最新の大型映像設備を導入
 - 婚礼会場「プリマリ」を改装
- 3月
 - 福島ユナイテッドFC(プロサッカーチーム)への協賛
 - 福島ホープス(プロ野球チーム)への協賛

地域交流

(株)たまのやでは、地域の皆様との交流を深めるため、いま話題の健康体操「笑いヨガ」を各地で開催しています。2014年度には78回開催し、その内38回は、公民館等の外部団体からの開催依頼によるものです。



◎連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末	当期末		前期末	当期末	
	2014年3月31日現在	2015年3月31日現在		2014年3月31日現在	2015年3月31日現在	
資産の部	流動資産	4,448	4,029	流動負債	3,066	2,277
	現金及び預金	2,680	2,140	買掛金	467	371
	受取手形及び売掛金	860	774	短期借入金	810	300
	商品及び製品	435	432	1年内返済予定の長期借入金	854	692
	その他	471	681	その他	935	913
	固定資産	18,408	17,332	固定負債	12,197	11,028
	有形固定資産	13,002	12,245	長期借入金	3,440	2,456
	無形固定資産	138	126	前払式特定取引前受金	8,025	7,918
	投資その他の資産	5,266	4,959	その他	731	653
	資産合計	22,857	21,361	負債合計	15,264	13,305
			株主資本	7,489	7,902	
			資本金	500	500	
			資本剰余金	2,033	2,033	
			利益剰余金	4,955	5,369	
			その他の包括利益累計額	103	153	
			純資産合計	7,592	8,056	
			負債・純資産合計	22,857	21,361	

◎連結損益計算書(要旨)

	前期	当期
	2013年4月1日～ 2014年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上高	12,057	11,505
売上原価	8,115	7,916
売上総利益	3,942	3,588
販売費及び一般管理費	3,114	3,041
営業利益	827	546
営業外収益	222	267
営業外費用	108	121
経常利益	941	692
特別利益	417	518
特別損失	245	447
税金等調整前当期純利益	1,112	764
法人税等合計	377	235
少数株主損益調整前当期純利益	734	528
当期純利益	734	528

◎連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

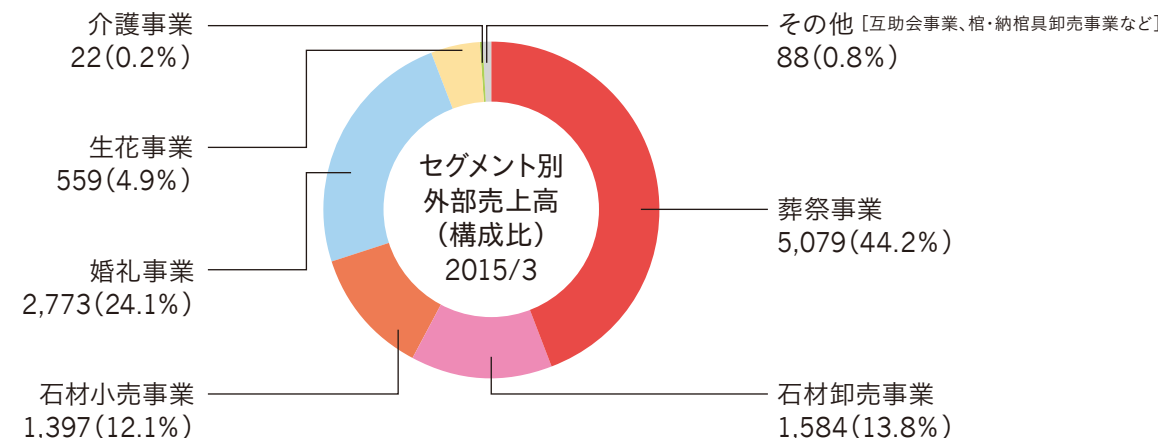
	前期	当期
	2013年4月1日～ 2014年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,040	1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,641	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	73	△1,788
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△527	△337
現金及び現金同等物の期首残高	1,122	1,292
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加	697	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,292	955

— 配当政策 —

当社グループは、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保して行くことを利益配分の基本方針といたしております。
この方針に基づき、2015年3月期の配当につきましては、1株当たり30円(中間配当15円、期末配当15円)といたしました。なお、2016年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

◎セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



— 業績・財務コメント —

連結貸借対照表

- 流動資産：前払式特定取引前受金保全のための国債購入及び借入金の返済等により現金及び預金が減少し、419百万円減少
- 固定資産：金融機関発行の社債償還による投資有価証券の減少、及び固定資産圧縮損等による建物及び構築物が減少し、1,075百万円減少
- 流動負債：短期借入金の返済等により789百万円減少
- 固定負債：長期借入金の返済等により1,169百万円減少
- 純資産：当期純利益528百万円に伴う利益剰余金の増加等により、464百万円増加

連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動により得られた資金は1,488百万円となりましたが、主に借入金の返済等の財務活動に1,788百万円使用しました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べて337百万円減少し、955百万円となりました。

連結損益計算書

- 売上高：石材卸売事業及び婚礼事業での業績が伸び悩み552百万円減少
- 営業利益・経常利益：売上高の減少に加え、施設建設に伴う減価償却費の増加等により営業利益は280百万円、経常利益は248百万円減少
- 当期純利益：負ののれん発生益の減少等により、205百万円減少

株主アンケートやイベント・説明会等でいただきました皆様からの貴重なご意見・ご要望は、社内で情報共有のうえグループの経営に反映しております。以下にその一部をご紹介します。

ホームページを充実させてほしい

A. 当社グループをよりご理解いただけるよう、ホームページをリニューアルいたしました。新しいホームページでは、トップページからIRニュースをご確認いただけるほか、「よくわかるこころネット」と題した当社グループの紹介ページを新設しております。また、スマホやタブレットにも対応した仕様となっておりますので、新しくなったホームページを是非ご覧ください。



左:「HPトップ」ページ
右:「よくわかるこころネット」ページ



関東圏でもっと拠点展開してほしい

A. 4月8日付けの適時開示にて発表しましたとおり、茨城県牛久市の「有限会社牛久葬儀社」を子会社化することといたしました。葬祭事業では初の福島県外進出であり、石材事業や生花事業と協同して更なる発展を目指してまいります。



左:牛久葬儀社「HPトップ」ページ
右:セレモニーホール牛久齊場



(2015年3月31日現在)

■株式の状況

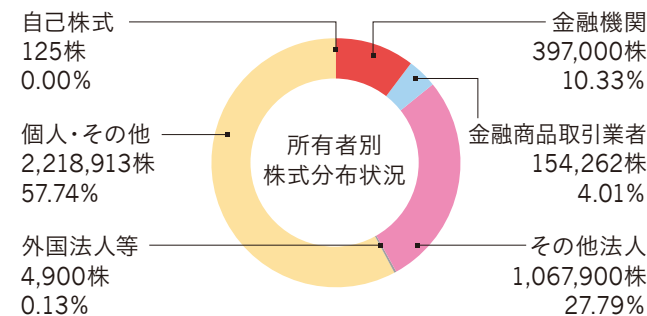
発行可能株式総数	5,100,000株
発行済株式総数	3,843,100株
株主数	1,006名

■大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
カンノ合同会社	970,000	25.24
齋藤 高紀	372,970	9.70
川島 利介	272,675	7.10
こころネットグループ従業員持株会	191,240	4.98
(株)東邦銀行	175,000	4.55
(株)福島銀行	135,000	3.51
菅野 松一	84,620	2.20
齋藤 フヨ	74,830	1.95
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	70,000	1.82
菅野 孝太郎	69,640	1.81

※カンノ合同会社は、当社代表取締役会長菅野松一氏並びにその親族の保有資産の管理を行う会社です。

■所有者別株式分布状況



■株価・出来高の推移

